

生産工程の統合化と 測定技能のとらえなおし

～向上訓練コース設定に関する研究(その2)～

基礎研究部
訓練適応研究室

戸 田 勝 也

研究担当者

富山技能開発センター

上 田 克 己

西 川 義 雄

序 文

公共職業訓練施設において向上訓練が実施されるようになって久しい。その間、各施設とも受講者数、訓練コース数ともに次第に増加している。しかしながら、向上訓練のねらい及び訓練内容の範囲・水準などの面からみるとかならずしも生産実態に即しているとは言えない。

本研究は“測定法”を単独の向上訓練コースとして取り扱うのではなく、機械加工プロセスと密接に関連をもたせて“測定法”向上訓練をとりあげ、生産現場に直接的に役立つような向上訓練コースの開発を行なおうとしている。

本報告が向上訓練の内容の充実、いわば質的向上について一石を投ずることとなり、向上訓練担当の先生方から御意見を頂ければ、研究担当者にとって無上の励みになると思います。

昭和62年 3月

職業訓練研究センター

所長 多賀谷 敏夫

機械系技能クリニック研究委員会 委員

- 野 沢 進 (㈱シグマ 社長)
- 吉 田 孝 (日嶋精型㈱ 技術部長)
- 東 保 喜八郎 (富山県工業技術センター
副主幹研究員)
- 西 川 義 雄 (富山技能開発センター 開発授助課)
- 上 田 克 己 (富山技能開発センター 機械科)
- 田 中 雅 之 (富山技能開発センター 機械科)
- 堀 利 久 (富山技能開発センター 機械科)